

なでしこ白星飛進



発行所
山形新聞社

山形市旅籠町2-5-12
電話 代表023(622)5271

Copyright (c) 2012
Yamagata Shimbun

2012年
7月26日
〈木曜日〉

速電
報版子

購読申し込み
(9-17時)

0120-81-8040

やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

川澄、宮間がゴール

1次リーグ カナダに2-1



ロンドン五輪のサッカー女子が始まり、カナダ戦の前半、先制ゴールを決め喜ぶなでしこ日本の川澄（右下）と、（左から）大野、沢、宮間 = 25日、コベントリー競技場（共同）



ロンドン五輪は27日の開幕に先立って25日、英国各地の3会場でサッカー女子の1次リーグ6試合を行い、熱戦が始まった。F組の日本代表「なでしこジャパン」はコベントリーでカナダを2-1で下し、金メダルを目指す大会の大切な初戦を白星で飾った。

初優勝した昨年の女子ワールドカップ（W杯）に続く栄冠を目指すなでしこは前半33分、川澄奈穂美が同じ

INAC神戸勢の大野忍とのコンビネーションで左からゴールに蹴り込み先制した。44分には左からのクロスに主将の宮間あや（岡山湯郷）が頭で合わせ、追加点を奪った。押し込まれる場面が目立った後半に1失点したが、逃げ切った。

4度目の五輪を迎えたなでしこは、3位決定戦でドイツに敗れてメダルに届かなかつた前回北京五輪の悔しさを胸に、大舞台の第一歩を踏み出した。

佐々木則夫（尾花沢市出身）日本監督の話
競技の最初で勝ったことは、オールジャパンを活気づけたと思う。第1戦は非常に難しい試合。選手は我慢してよく戦ってくれた。